

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストにおける 問題冊子について

令和7年度大学入学共通テストから、平成30年3月に告示された高等学校学習指導要領に対応した科目を出題することに伴い、一部の教科・科目（地理歴史、公民、数学、理科、情報）では、問題冊子の形態等に変更があります。

変更がある教科・科目における問題冊子の形態等は、以下のとおりです。

※ 新教育課程履修者及び旧教育課程履修者等の定義や、各出題教科・科目における科目選択の方法等については、「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法等」（令和5年6月9日公表）に記載していますので、そちらをご確認ください。

1 問題冊子の形態

(1) 地理歴史、公民

① 新教育課程による出題科目

「地理歴史、公民①」と「地理歴史、公民②」の問題冊子2冊をビニールでパッケージ化します。

それぞれの問題冊子に掲載される出題科目は次のとおりです。

問題冊子の名称	問題冊子に掲載される出題科目 ※白抜き数字は掲載順
地理歴史、公民① (右の5科目を掲載)	① 『地理総合、地理探究』 ② 『歴史総合、日本史探究』 ③ 『歴史総合、世界史探究』 ④ 『公共、倫理』 ⑤ 『公共、政治・経済』
地理歴史、公民② (右の1科目を掲載)	① 『地理総合／歴史総合／公共』

② 旧教育課程による出題科目

「旧地理歴史」と「旧公民」の問題冊子2冊をビニールでパッケージ化します。それぞれの問題冊子に掲載される出題科目は次のとおりです。

問題冊子の名称	問題冊子に掲載される出題科目 ※白抜き数字は掲載順
旧地理歴史 (右の6科目を掲載)	① 『旧世界史A』 ② 『旧世界史B』 ③ 『旧日本史A』 ④ 『旧日本史B』 ⑤ 『旧地理A』 ⑥ 『旧地理B』
旧公民 (右の4科目を掲載)	① 『旧現代社会』 ② 『旧倫理』 ③ 『旧政治・経済』 ④ 『旧倫理、旧政治・経済』

(2) 数学

① 数学①

新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目を同じ問題冊子に掲載します。

問題冊子に掲載される出題科目は次のとおりです。

問題冊子の名称	問題冊子に掲載される出題科目 ※白抜き数字は掲載順	
数学① (右の4科目を掲載)	新教育課程による科目	① 『数学Ⅰ, 数学A』 ② 『数学Ⅰ』
	旧教育課程による科目	③ 『旧数学Ⅰ・旧数学A』 ④ 『旧数学Ⅰ』

② 数学②

新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目を同じ問題冊子に掲載します。

なお、『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』については現在の試験と同様に別冊子として編集します。(旧教育課程履修者等のうち、出願時に申請した者のみに配付します。)

それぞれの問題冊子に掲載される出題科目は次のとおりです。

問題冊子の名称	問題冊子に掲載される出題科目 ※白抜き数字は掲載順	
数学② (右の3科目を掲載)	新教育課程による科目	① 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』
	旧教育課程による科目	② 『旧数学Ⅱ・旧数学B』 ③ 『旧数学Ⅱ』
数学② (別冊) (右の2科目を掲載)	旧教育課程による科目	① 『旧簿記・会計』 ② 『旧情報関係基礎』

(3) 理科

問題冊子に掲載される出題科目は次のとおりです。

問題冊子の名称	問題冊子に掲載される出題科目 ※白抜き数字は掲載順
理科 (右の5科目を掲載)	① 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 ② 『物理』 ③ 『化学』 ④ 『生物』 ⑤ 『地学』

(4) 情報

新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目を同じ問題冊子に掲載します。

問題冊子に掲載される出題科目は次のとおりです。

問題冊子の名称	問題冊子に掲載される出題科目 ※白抜き数字は掲載順	
情報 (右の2科目を掲載)	新教育課程による科目	① 『情報Ⅰ』
	旧教育課程による科目	② 『旧情報』

2 旧教育課程による出題科目に関する注意事項について

(1) 数学, 情報

数学及び情報については、新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目が同じ問題冊子に掲載されます。受験者が解答する科目の選択を誤らないよう、旧教育課程による出題科目には以下のとおり、新教育課程履修者は選択できない旨を明示します。

例) 『旧数学 I ・旧数学 A』の場合

(その他の数学, 情報の旧教育課程による出題科目についても同様の方法で明示します。)

<先頭ページの表記> (イメージ)

「新教育課程履修者」は、選択できません。	
旧数学 I ・旧数学 A	
問 題	選 択 方 法
第 1 問	必 答
~~~~~	
第●問	} いずれか●問を 選択し、解答しな さい。
第●問	
第●問	

先頭ページの冒頭には、新教育課程履修者はこの科目を選択できない旨を明示します。

#### <2 ページ目以降の表記> (イメージ)

「新教育課程履修者」は、選択できません。	
旧数学 I ・旧数学 A	
(1) 次の数式について・・・	

2 ページ目以降、見開きの右ページの上部には、新教育課程履修者はこの科目を選択できない旨を明示します。

※ 地理歴史, 公民については、新教育課程による出題科目の問題冊子と旧教育課程による出題科目の問題冊子のどちらかを配付 (出願時に申請) するため、旧教育課程による出題科目に上記のような注意事項は記載されません。

## (2) 理科

理科については、必要に応じて、旧教育課程履修者等のみが選択可能な問題を出題する場合があります。その際は、どの問題が選択可能なのかがわかるよう、該当する出題科目の先頭ページや該当する問題の各ページに以下のように表記します。

<該当の科目の先頭ページの表記> (イメージ)

( 科 目 名 )			
問 題	選 択 方 法		解 答 番 号 数
	新教育課程履修者	旧教育課程履修者等	
第1問	必 答	必 答	1 ~ ★
第○問	必 答	必 答	● ~ ●
第△問	必 答	いずれか1問を 選択し、解答し なさい。	▲ ~ ▲
第□問	解答しては いけません。		■ ~ ■

新教育課程履修者が  
解答してはいけない問  
題を明示します。

旧教育課程履修者等  
のみが選択可能な問題  
を明示します。

選択問題を出題する場合のマークの仕方について(旧教育課程履修者等が、最後の問題を選択した場合に、選択しなかった問題に該当するマーク欄を空欄とする)は、試験当日に配付する問題冊子中で説明します。

<上記第△問における先頭ページの表記> (イメージ)

「**新**教育課程履修者」は、第△問を解答しなさい。  
「**旧**教育課程履修者等」は、第△問又は第□問のいずれかを選択し、解答しなさい。

**第△問** 次の文章を読み、下の問いに答えよ。(配点 ～)

新教育課程履修者にとっては必答の問題であり、旧教育課程履修者等にとっては選択問題となる旨を、問題の先頭で明示します。

<上記第□問における先頭ページの表記> (イメージ)

「**新**教育課程履修者」は、第□問を解答してはいけません。  
「**旧**教育課程履修者等」は、第△問又は第□問のいずれかを選択し、解答しなさい。  
第□問を選択する場合は、解答用紙の解答番号の  ～  の解答欄は空欄になります。

**第□問** 次の文章を読み、下の問いに答えよ。(配点 ～)

新教育課程履修者は解答してはいけない旨、および、旧教育課程履修者等にとっては選択問題となる旨を、問題の先頭で明示します。  
また、旧教育課程履修者等が、第□問を選択した場合に、選択しなかった方の第△問に該当する  ～  の解答欄を空欄とする旨も明示します。

<上記第□問における見開きの右ページの表記> (イメージ)

「新教育課程履修者」は、第□問を解答してはいけません。  
(科目名)

問3 以下の式について・・・

見開きの右ページの上部には、新教育課程履修者は第□問を解答してはいけない旨を明示します。